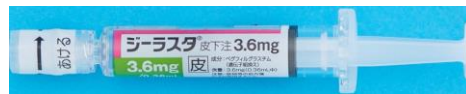


ジーラスタ皮下注適正使用のお願い ver4.0

薬価が高価な薬剤です。

- ・ジーラスタ皮下注3.6mg: 108,558円/本
- ・ジーラスタ皮下注3.6mgボディーポッド: 114,185円/本
(参考: フィルグラスチムBS注75µgシリンジ 2,510円/本)



用法及び用量

〈がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制〉

通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）として、3.6mgを化学療法**1サイクルあたり1回皮下投与する**。

〈同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員〉（ボディーポッド製剤には適応なし）

通常、成人にはペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）として、7.2mgを1回皮下投与する。

1. 適切な投与日の選択 （がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制の場合）

不適切な例



14日サイクルの化学療法において、投与終了後**5日目以降**に投与

⇒抗がん剤投与開始10日前から投与終了後24時間以内に投与した場合の安全性は確立していません。



2. 適切な患者選択

不適切な例



発熱性好中球減少症(FN)発症のリスクがなく、
FN発症率が20%未満のレジメンを使用する患者への投与



発熱性好中球減少症の治療としての投与



1週間毎(Weekly)のレジメンに対する投与

⇒ジーラスタは、**FN発症リスクが高い患者**（レジメンのリスクや患者個々のリスクに基づき評価されます）
に対して、**FN発症抑制の目的**で使用される薬剤です。

⇒ジーラスタの投与が推奨されるのは、3週毎または2週毎のレジメンとなっております（NCCNガイドライン）。
1週間毎（Weekly）のレジメンに対するジーラスタの使用は適切ではありません。

※G-CSF製剤使用の推奨グレードに関しては、「NCCNガイドライン（Hematopoietic Growth Factors version1.2023）」または「G-CSF適正使用ガイドライン2013年版ver.5」をご確認下さい。

★ジースタ皮下注3.6mgポディーポッドについて

2023年3月7日より全診療科でオーダー可能となります。

オーダー方法の詳細や、ポディーポッドの装着方法、取り外し方法に関しては、医薬品情報Web検索システム(MDview)のジースタ皮下注ポディーポッドのページに、資料を添付しておりますのでご確認ください。



1. 特徴

ポディーポッドを腹部に装着し、本体を起動すると**27時間後に薬剤が自動投与**されます。投与後は、患者さん本人によるポディーポッドの取り外しが可能です。

2. 適応

効能又は効果は、「がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制」のみです。ポディーポッド製剤には「同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員」の適応はありません。

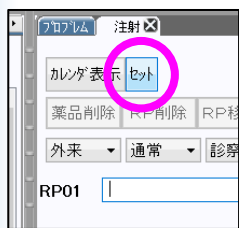
3. オーダー方法

生理食塩水の処方忘れ※、ジースタのシリンジ製剤との処方間違いを防止するため、オーダー方法は、**セット処方でのオーダーのみ**としております。

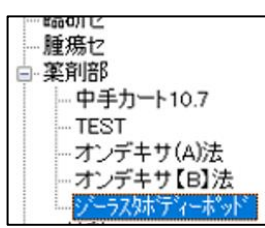
ジースタと入力しても、検索画面にポディーポッド製剤は表示されません。

※ポディーポッドの装着時に、生理食塩水によるプライミングが必要です。

1 注射オーダー画面でセットを選択



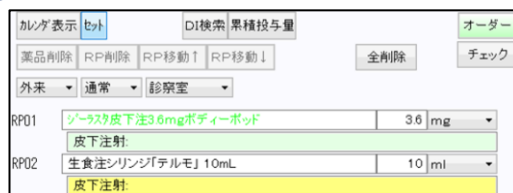
2 セット選択から薬剤部のフォルダを展開し、ジースタポディーポッドを選択



3 実施日を選択 (装着する日付を入力してください!)



4 薬剤が入力されるため、そのままオーダーを選択



★ジースタ皮下注の用法用量に関連する注意の変更について (2022.11.24 添付文書改訂)

変更前

がん化学療法剤の投与開始**14日前**から投与終了後24時間以内に本剤を投与した場合の安全性は確立していない。

変更後

がん化学療法剤の投与開始**10日前**から投与終了後24時間以内に本剤を投与した場合の安全性は確立していない。

国内外で2週間間隔投与のFN高リスクのレジメンに対する情報が蓄積されたため、抗がん剤とジースタの投与間隔の記載が変更